近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

（1）　このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。

（2）　このデジタルアーカイブの利用に際しては「東京大学経済学図書館電子資料利用規則」に同意したものとみなされます。

（3）　印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。

（4）　画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。

（5）　画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。

（6）　文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。

（7）　本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

（8）　本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

岩瀬村

安曇郡往還口筋村々外村々人馬賃銭再割増之儀願書

松本御役所

安永七戌年
加納印

覚

去ル酉年十月ゟ当戌年十月ゟ七ヶ年之間
人馬賃銭之割増之處
来戌年十月ゟ来ル未十月迄七ヶ年之間

一 人馬賃銭五割増之事

松本御役所
安曇郡
田口金村

九日町
日向郡[illegible]
上[illegible]村
湯本村

右之村人馬賃銭割増被成當戌十一月限ニ七ヶ年季

昨年迄戌亥両年之割増を以取出当未御定免ニ
済ニ付此度改而定免被仰付被下置候様奉願上候
之儀往還縁場高通之困窮諸人少ニ而往来之村々
之儀作土地も不宜出来方甚悪敷ゟ人馬
繋役之割増ニ御座候ニ付其上困窮候得共納
並之儀天保七申年大凶作故却年貢年々相
渡兼候処有之候後増分捨田畑も有之
是迄御年貢御立合不足之儀通之候得共

村柄去辰年迄年貢可勤方ニ付在家之儀者
相続不申候間御付延之
御仁恵以御免状ニ付其段中ニ而相成儀ニ御座候
御代官様中様御役所ニ而通之候今度
年々去辰年迄年貢上納難渋仕候間
付則取調之上御定免被仰付被下置候様
ニ而八家別之御取箇ニ付早々御聞済被下候
大縄之通り之御定式ニ付村々割合御座候

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

右是迄ゟ九合外御入用も年々村方人別ハ増減有之
相減候上人数ハ減シ相増難渋之趣ニ付未成合
今年ゟ向弐ヶ年之間割増之上是迄二割相増都合弐割
増ニ申付候間村中立合大困窮中一致ニ相心得追
之振合を以来取計割増文割増来取候ハゝ不
容易儀ニ付兼而御判之中ゟ済方取斗可仕
是迄取之通ニ申付候ニ付此度兼而取計合而調達
当時之村役人割ニ而取斗難渋之段相違無之候
等相談之御沙汰を以書面取之通未成ゟ拾六
年之間人々借銭之割増之御付相願仕候年限
後ハ以前之年限中者其趣を以人ゟ從前方法之
歳文分之振仕法相立可相儲向之取計ニ而候此旨相
心得可被致候以上

嘉永二酉年八月

御勘定所

猪田坂郎殿

朱書

附紙　御勘定下

書面人馬役銭割合之儀拾年季ニ相極候得共

未戌ゟ辰迄七ケ年ハ古来之割合ニ而可申付候

酉九月

掛り
忠三郎

安政元寅年
御勘定伺

奥州久ノ濱村外十ケ村人馬賃銭割合之儀年季明ニ付伺書

覚

一 人馬賃銭割合
（卯五月ゟ酉十二月迄七ケ年季中／未戌正月ゟ未十二月迄拾ケ年季額）

[illegible]役所
奥州楢葉郡
久ノ濱村
下北迫村

右者[illegible]役所奥州楢葉郡久ノ濱村外十ケ村之儀江戸
表通り往還道筋ニ而付山坂[illegible]能其人足数重ニ
有之候ニ付人馬賃銭之割合ニ而当未戌年[illegible]

去ル申酉両年ニハ別段手当ニ付人気不穏候處近年
窮民ニ御座候此外諸家中ニ身分ニ寄人馬賃銭高
相成候故中ニハ山元ニ而ハ売買致居難渋仕候光
ニ依而海岸迄ニハ居風上候湊津出ニ而ハ山元
迄運送致候處運賃不足ニ付道路悪敷別而ハ年々
大坂表ニ差送ニ相成出場所出銅致候ニ付御手当
ニ相成候事役銅当ニ而山出之津出船運賃御手当
道ニ而第一当通ニ差出所分ニ付其儀ハ津出之節も

銅吹ニハ炭薪所御座候ニ付不残金差上候ニ付
御座候處御代官様ニ而他所ニ而不足之金ニ付御代官
致相和山ニ而相成候金ニ而御手当去申年中
銅山出ニ付御手当銅代及利解押
御山ニ而不足割合ニ付年々当分割合
年々手当割合ニ付
之ニ而銅出種々利害
極月ニ而中ニ而御座候

勿論右之[illegible]ニ而ハ私共手ニ[illegible]ニ而[illegible]
[illegible]
[illegible]道相[illegible]入用[illegible]
[illegible]高割[illegible]勘弁[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]書付[illegible]人高[illegible]割
[illegible]

右之通

寛政五年九月

島田帯刀下

御勘定所

書面之人高役銭割合之義去々年迄七ヶ年
[illegible]
押切
[illegible]
酉十一月

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

安政六年
如此□

奥州本宮南町村外弐ヶ村人馬賃銭割増年季明ニ付御請書

覚

卯十月ゟ酉十月迄七ヶ年季明
未戌十月ゟ十ヶ年季願

一 人馬賃銭三割増

御代官所
奥州横萱郡
本宮南町村
外弐ヶ村

右者御代官所奥州横萱郡本宮南町村外弐ヶ村
之儀往還筋人馬継立□□□□□□□□□
連々困窮及人足差支候ニ付人馬賃銭三割増

ニ御料甲戌年季質ニ付差出候田畑東國ニ而者凡滞分
流地ニ相成候分一割ハ其質入主ヘ返し候事ニ候得ハ
中々返り難く候ニ付質入主ハ相続方ニ差支候者も可有之
候条以来右年季之内ニ質地取戻候儀も可有之旨
申渡ニ付是迄質入之外ニ流地ニ相成候分其國之内
村方ニ而請戻シ候ハヽ年季ニ不拘月々ニ請戻シ
候様質入主ヘ割合ヲ以御料所ニ而相定候
人其國之内ニ有之候事ニ候得ハ尤其質地之儀

ニ取上ケ割合ヲ以返戻之儀ニ而者質地之儀
預ケ候捨り年々別段預主ニ而返済之事
利息相止候ハヽ東國ニ而者返済之節
年季之年限捨り年季ニ付候得ハ相續之事
ハ年季ニ而返済之上地主ヘ返し其外年々
荒地之分有之候ハヽ返済之上請戻候ハヽ
ニ付花柄ニ付預り之内ニ而請戻し月々ニ
月限捨り年季之内ニ付質地割合ヲ以御料所ニ而相定候事

浚之儀伺書

安政三辰年九月

御勘定所

島田帯刀

書面之趣ハ堰浚割増之儀去辰年より来ル巳年迄七ケ年季ニ而是迄之通三割増相渡候間得其意可申付候

押切
申ノ三 辰十二月

東丹波村外六ケ村入会堰浚割増願之儀

去ル辰年より巳年迄七ケ年 相済申候

申ノ年より来ル巳年迄七ケ年季
未ノ年より来ル午年迄七ケ年季

一 入会堰浚御割増願

秋山村名主
東丹波 [illegible]郎
北々窪村

西丹波
同 [illegible]郎
上ノ原村
楊ノ木村

秋山村組頭
同 桜井[illegible]郎
久三保村
下北ノ地村
下小塙村
下小塙村

右之趣今般御詮議被遊候ニ付享保十二月限り
年季有之田畑ハ其年切ニ村々名主方ニ而
証文を取置候様ニ可仕候又候名主年寄方ニ而
相改メ置候 然ル上ハ村々相互ニ相違無之様
被仰付候之間 御領分中 入作之村々
之者共御公儀之趣相守 其年季之分
田畑地主へ相渡可申候 右之通被仰付候

之年季仕候を無御座候ニ付 此度右之
趣村々名主方ニ而申付 入作之もの共ニ相渡可申候
此者共之儀ハ 右之旨相守候様ニ可申付候
事ニ付而ハ 御公儀ニ而相改メ候間 村々名主
組頭共ニ申渡 右之通相心得 村々申合
之者共ニ不念無之様 堅可申付候 右之通
村々名主方ニ而相改メ 村役人共ニ申渡
相済申候 以上 右者御下知之通 村々

朱書

今般之御尋ニ付猟師共人足ニ而迯去申候
然ル処村々名主へ相届下北之村々迯出候由
沖先場所之猟場漁場之儀ハ古来ゟ風ニ
浜手際漁業ニ而海上之漁[illegible]候ニ付
及論候処奉行所へ罷出候所[illegible]
（風雨之節ハ[illegible]入会猟場之儀[illegible]）
入会猟場之儀ハ山之方ニ而[illegible]
是迄[illegible]場所之猟場[illegible]
[illegible]

猟場之儀是迄之通割合ニ而[illegible]
然ル上ハ右猟場割合ニ付[illegible]
[illegible]国家ニ而了簡致[illegible]
[illegible]割合[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

朱書

来巳正月ゟ拾ヶ年之間人馬賃銭割増
之儀相願候ニ付願之通年季申付候間
来巳ゟ人馬賃銭之方請取来候分之割増
取計猶又御取扱之儀ハ休年限之上
安政四巳年九月　関田大隅　下

御勘定所

書面人馬賃銭割増之儀来巳年ゟ割増
来巳ゟ七ヶ年之間
[illegible]

奥州白川郡[illegible]村外六ヶ村人馬賃銭割増年季附書

覚

一人馬賃銭五割増　三巳年六月十二日迄七ヶ年季

私御代官所　奥州白川郡　[illegible]村

右同郡　上[illegible]村

右同郡　[illegible]村

右七ヶ村人馬賃銭割増之義者、前々[去丑年迄]之年季明ニ付
来子正月ゟ拾ヶ年割増之義奉願上候處、御聞済被成下置
水戸殿御通行并御奉行衆・仙台・松前様御役々御通行之節
往還筋ニ而困窮之村々人馬差出し、村々困窮仕候ニ付
七申年古今稀成凶作ニ而、翌酉年ニ至り疫病流行死亡之者
多分有之、人馬不足成田畑手余荒地ニ相成、御年貢諸役難渋
及難渋候ニ付、当年之上迄相続之通、御通行御継立
足競ニ而出来兼候ニ付、遠方ニ而差出し候人馬之義
人馬之儀割増被下置度、人馬多分差出し候故
賃銭之外見継多分ニ相掛り、村方人馬之儀者多分ニ差出し候ニ付

人馬ヲ追々差出候得共、以之外諸家様方御通行之節
多分ニ而御通行之上、是迄割増之上ニ而も御通行難渋仕候ニ付
諸家様方御通行ニ付、水戸殿御通行之右[往還]御通行之節ハ、御継立
難渋仕候而御通行御差支ニ相成、困窮之百姓共田畑耕作之手間無之、其上近年
難渋ニ付、前々之通賃銭之儀ハ、馬飼料之代ニ茂不足ニ付、割増
之儀、奉願上候處、前々之割増之年季明候ニ付、此度
御通行之節往還筋之者共難渋仕候ニ付、人足割増ニ而作業加之候而も、尚又
御伝馬之御用相勤候、尤右村々之儀ハ困窮ニ而御用難相勤
候ニ付、宿々之者共之割合、是迄之通ニ而ハ難相続、依之村々
御通行之節、人馬之御用差支無之様相勤、数ヶ度御願申上候

是迄ハ三割増ニ而渡世致来候処、此度右迄振ケ年之内
五割増ニ仕度段相願候処、右ニ而者実ニ差支難渋仕候義ニ付
商ひ一般ニ相成候得共、右ニ付而者何連も困窮人而已
抔之儀ニ茂至候而者、当時御座候而者、掛合人別ニ茂相成候間
之段差遣之候ニ付、右規ニ付仍而御願申上候得共、右迄
振ケ年之間但シ仍而五割増之作成申候ニ付私仕度当事相成候ハヽ
上文年中迄ハ右ニ付人別ニ相違之方御座候文字ニ私共締
向之義相成候様何卒御聞届被下度奉願上候以上

文久三亥年八月

森孫三郎 印

御勘定所

書面願之趣別紙之通承届候、別紙之通人別仍而銭増之子
当子年より来申年迄七ケ年之内三割増之上下壱割増
都合四割増申付候

子六月

武州四ツ谷村外六ヶ村人馬高役割合之覚

秩父郡
武州秩父郡
四ツ谷村
同州秩父郡
上弘尾村
湯本村
同州秩父郡
久々原村
下山田村
本多郷村
下小鹿村

右之村入会出入ニ付[illegible]去九年十二月迄

[illegible]三郷[illegible]

[illegible]道[illegible]入会[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]入会[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

飛騨国往還之儀、當分小谷村迄之通圖面之通ニ而、右ハ信濃ゟ新潟

之仕方ニ而、堀大村ゟ山奥ニ付、粗大模様ニ而図面を以

甲中ゟ北ニ山路ニ而、[illegible]ゟ[illegible]村ニ

通り候ニ付、此節ニ付、[illegible]村ゟ[illegible]北之

本[illegible]ニ而割[illegible]之難所[illegible]之通

之[illegible]ニ[illegible]ニ而割[illegible]、仕方[illegible]

[illegible]之通り[illegible]、堀大村ゟ[illegible]

被之[illegible]ゟ[illegible]ニ[illegible]

之[illegible]道中[illegible]

右卯年ゟ年々人足[illegible]之儀[illegible]新[illegible]ニ付[illegible]

[illegible]ニ[illegible]ゟ[illegible]

[illegible]之二[illegible]

慶應三卯年　月

[illegible]

御勘定所

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

奥州下[illegible]村山年貢年季[illegible]

○

覚

[illegible]

酉ノ年ゟ拾ヶ年季明

来戌ノ年ゟ拾ヶ年季[illegible]

右村[illegible]

一 [illegible]百文

[illegible]

[illegible]

[illegible]

奥州[illegible]郡下[illegible]村

山年貢

[illegible]

右者[illegible]奥州[illegible]郡下[illegible]村山年貢[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

朱書

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

朱書

[illegible]

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

○

[illegible]

覚

寛政六寅[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

朱書

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

[illegible]

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

朱書

[illegible]

同[illegible]

[illegible]年季切替

多摩郡上椚田村山年貢可納[illegible]書

申ノ子より[illegible]年季中(?)

山年貢永拾七貫八百六拾文

此鐚銭七拾五貫八百四拾文 ノ内

一 永七貫四百七拾弐文余[illegible]

此鐚銭弐拾九貫八百八拾六文

外 永四貫文

此鐚銭拾八貫文

上納之積

外

[illegible]七ヶ年[illegible]年季[illegible]

秋[illegible]代官所

多摩郡上椚田村

山年貢[illegible]

継年季

但 今年より二月

鐚銭[illegible]貫文宛

[illegible]七ヶ年上納之積

永楽貫三百八拾八文而ト　右門前上網代ニ分
此銅銭四拾壱貫五百五拾四文
内
内永楽弐貫文
此銅銭八貫文　寅年上網入用分
銅銭拾五貫五百八拾四文　往古ゟ百姓持余網之分
内
銅銭七貫五百八拾四文　先年壱文銭ニ而上網方ゟ請往ニ分
銅銭八貫文　此分ゟ以後ニ而上網請付分
銅銭弐拾五貫五百七拾四文　猟師持ゟ上網之分

永禄二己未年

右上郷田村百姓持山年貢門前之成方本帳ニ在候

支配中五網本網ニ而永楽九貫四百七拾壱文而ト　甲年ゟ壬子迄
四ケ年門前ゟ致侘寅年ゟ元網永楽ニ而立候ニ付五網御家
同右ゟ被下知有之寅年ゟ元永上網之積先文銭度方
左衛門方ゟ此後往古知不之儀説中ニ而高文元ゟ乙亥
四ケ年門前ゟ致侘望年々候之永楽貫文ニ而上網
売ゟ元永上網之積往年季何之寅三月中　為替
置候右網方へ空地而私ゟ調達し　年々売
出迄有之　左衛門方ニ何之被下候ヶ様成候段

永楽貢〆三百八拾八文六分ト　　右門前上網仕候分

此銅銭〆四拾弐貫五百五拾四文

内　永楽貢文
此銅銭八貫文　　南七上網網方場

内

銅銭拾貫五百八拾四文　　住百姓持来網分

内
銅銭七貫五百八拾四文　　先年文政五年上網方以仕候分
銅銭八貫文　　此度以御手当上網仕候分

銅銭拾貫五百七拾文　　猟師持分上網之分

右上野村百姓持山年貢門方へ成右之通御座候

文政年中五網方組合永九貫四百七拾七文六分ト　申々去子と
戌年門方新仕付高五々五網方立廃ニ相成網方
同所ニ而知者ニ高七年分元永上網之積先文政度方
去年御方以御手当仕候ニ付網中立高文五々乙と
戌年門方新仕付翌年分御手当永貢文以上網
之分元永上網之積仕年季何も高三月中　相定
置候右同網方并ニ私方ニ而相違　右之通
遣方ニ去年御方ニ同所ニ而御座候

同人方ニ而追々年代相違之場所見分之上田畑相知
在村之儀者高五石四斗程五石余ニ而字古津新田と唱候場所
高百七拾石余荒地ニ而御用捨之場所ハ在村続ニ
有之右山往古者本田ニ御座候処有之山床薪取稼方
出来山年貢上納方之義者天明三卯年
飢饉之砌退転人多分有之候ニ付[illegible]
手入方之義御座候ニ付本田一切外本田一切
山稼ニ而相続上納方之儀御用捨之義

天保七申年凶作ニ而去未以来飢死仕候者多
其上難渋之年柄ニ付多人数死失いたし
山年貢上納之義者七ト通り出来兼候ニ付村方上納
いたし候得共追々今以手余地田畑多分之手余り地
門方出来兼候ニ付御山年入方之儀相成候
難渋之者共立会之上門方一同[illegible]
其外之者共[illegible]村方[illegible]
窮迫仕候得共[illegible]中[illegible]通門方

一 人ゟ申達ニ付年代ニ至迄 相知不申候 上ケ山網ニ而
（壱ヶ所）古村之儀ハ高五百石程之石高ニ而当村新田上畑ニ相成
高百七拾石余荒地ニ而内 夜〆清水ニ而右村越石ニ
有之 右山往古ゟ本高ニも有之 岩本新井稼方
相成山年貢上納方之義 去ル明三卯年
御慥ニ相成 追而人少ニ相成候ニ付 追々御取ゟ以之ニ付
前書之通 有之 山年貢 山中御稼之外 本免一切
山稼ニ而御年貢上納致居候ニ付 御所ニ而高文

[illegible]

天保七申年凶作ニ而米価高直飢死住居之者多ク
有之 極窮ニ而年 度石高多人数死失いたし
山年貢未納ニ而七ト通 清水村并納
以ニ相成 追々人少ニ相成 田畑多分手余地
門方未納ニ相成 從而山年入会之場所 困 未納候
難渋之者申立方之門方 由 一同 難有奉存
百姓ニ而住居之ニ而 村柄
窮迫住居 未納 中 申 通 門方

右浦方者困窮ニ付、海名村前山下相越しより大網
一 同 漁場之義ハ先年御定目之通り、網代前之義者前々ゟ相定之通
定網相建、上川方之浦々宮島并鵜来嶋浦迄、浦方理解仕
両浦ゟ山下ゟ分出浮付法建外、茨立一切無之様ニ可申事
但、山年貢並網代之場所之儀
浦々漁場稼方之義者、右網之前ゟ漁場之義者
上網之ゟ義、是迄之漁場ニ付、前浦網之儀ハ川方ゟ
川方ニ而漁場ニ而八五郎居浦方鵜来嶋之上網
漁場之義ニ而掛り浦方一統之上七村ニ而相願之通候

五島郡并住居之一件、極山中を除く郡中農民
之家業之儀ハ先年之通村々ニ而山下稼之儀者
浦方之法ハ、浦方之儀者上八村稼之者共住居之浦方
鵜来嶋浦中之上網相建漁場住居之儀ハ、上宮嶋之川方ゟ
漁場之網代之儀ハ九貫匁之上七拾文之内
且又之貫文ハ南七分上網之漁場稼方七貫匁ニ七拾
一 同 之又右ハ上年ゟ取南七分成之拾年年川方ゟ
漁場之儀住居之上八村年季中地下未定之

右漁方之儀ハ居浦并江名村東山ニ而新規之大網
一 御停止 未新規之事候ニ付右様之儀ハ不相成候ニ付
建網取計候上ハ網方之儀宮島へ願出候ニ付
御理解ニ而 [illegible] 山年貢木網ニ而之儀
ニ付漁場ニ而相続仕候ニ付右之不相成候ニ付
上網之者ニ文ニ付何方ニ而 [illegible] 網ニ而 [illegible]
網方之漁有之又ハ六ヶ敷候ニ付網方 [illegible] 上網 [illegible]
漁有之ニ付極置候ニ付 [illegible] 之村方ニ而 [illegible]

再度勘弁仕候ニ付一体極山中之通ニ而農民
之稼業ニ差支候ニ付右村方ニ而山木村 [illegible]
漁場ニ而相村一八村物 [illegible] 仕法之事
網方漁場上 [illegible] 網 [illegible] 仕候 [illegible] 川方
漁有之候 [illegible] 九貫四百七拾文 [illegible] 之内
永代貫文ニ而七分上網之段 [illegible] 七貫四百七拾
一 月之文之外下ニ而掛様七分成之極ク年々 [illegible]
漁有之極仕候 [illegible] 上八木年季中 [illegible]

苗木年々ニ而植付方並様ケ年も去ル巳ゟ新規ニ實 付会
掃ニ植付来候或者植壱ケ年ニ付五拾本植
付候分〻御始年ニ御書面之通年々……
右場ゟ苗木植付方而者凡分御手入
上網方之儀者年々上戻ル段者村方も追々返事
御植付来候ニ付苗枯死ニ而御作徳を以出来候通
村方取計植付候ニ付条々御座候様申上候
此段奉伺候以上

嘉永六丑年十二月

設楽八三郎

御勘定所

伺之通
本文伺之通網重之儀者々庫之通網重之来申候
網方並ニ井伊直侯ゟ申立候御掛り
山流之庫之事者一通り申渡候 以上

かかれ△

苗木年々御植付並植ケ年も有之候ハヽ新ニ書付出

揃ニ植立来候分者植立ケ年月より当寅迄植

立新出御林前々植立年々ニ相成候分掛高又ハ年々

右絵図ニ苗木植付方御取計可被成候

上納方差支無之様且村方も追々立木

仕付来候分も植付方御吟味之上出来之通

門方並絵図ニ相記候様可被成候絵図引合

可被成候以上

安永六酉年十二月

設楽八三郎

御勘定所

小札△

帝鑑間方

右之外上納高之儀ハ絵図面ニ而相違無御座候

納方並ニ年々出来高差引之上取計可申候

此段之儀ハ一通り取計可申候以上

如何中ニ御座候ニ付御用状ニ而申ニ付
右ニ付本書ニ而御座候ニ付申上候

七ケ年 未極月 宮下 清左衛門 助右衛門 善右衛門 拾右衛門

表書之通奥州磐井郡上郷野村山年貢永七貫四百
七拾五文〆卜拾ケ年分永代二石巳ヨリ
酉ケ年季同申ヨリ右年季中積之山方年々入
用役年季明之上返済永之受取候
所之右文吉之候上
宝永二月
押印
拝借候

小名倉

奥州磐井郡猿沢村山年貢年季明請取覚

未ケ年返済年季明
酉ケ年返済拾ケ年季明
奥州磐井郡下猿沢村
一 永弐百文
此利残八百文
已永返日

但拾ケ年分

永高ニ付預所
奥州磐井郡下猿沢村
山年貢
但金高ニ付
御年貢之分

右山年貢之儀当巳年季明ニ付返済被仰出候ニ付
吟味仕候一件古村之儀海岸附荒地ニ付年々

朱書

右者今般内證寵亀被成下候ニ付右反別哉所九反壱畝

卜ノ場所ニ而宗（栄）箕川両様古住ニ付得見迹年々續

出作ニ付添増人少無於證寵汲逃も免除相願（觸八右衛門年寄休年ゟ相…）

度旨ニ依ニ付是迄之平遣も相渡請取作付

致度旨ニ付之得ニ相成候ニ付而ハ右之趣を以相違無之候ニ付

候ニ付右書面之通相違無之候ニ付年々差出

請取作付ニ相成候旨右之通相違無之候

年季中取立之相納候様ニ可仕候ニ付年々可勤之

元ニ組付之相成候様ニ相定ニ付候ニ付以上

安政四巳年　　四月

羽田甚平殿

御勘定所

右下ノ引方ニ而御代官

長年書ニ而奥川様

御取下ケ相成候村反別畝所九反壱畝

（朱書注記：右五郎、右衛門、次郎、八右衛門、八郎右衛門、太郎左衛門、進、平右衛門）

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

右之年貢之儀者当巳より来辰迄拾ヶ年季中村

年季中たりとも相納候ハヽ書面之通其年々

御勘定元ニ相伺之上年季明之上ニ而当又遂吟味

可被成候得其意申渡し者也

押切　巳四月

中の□

酉刈上神白村山年貢割付年季證書

酉年分取立丑年五ヶ年季取ニ而初高

去ル巳ゟ辰迄拾ヶ年季明

山年貢永拾七貫文ハ前百文程ヶ

此銭十貫文ハ四百文程ヶ

一　永七貫四百文程ヶ程ヶ

此銭拾九貫文ハ前百文程ヶ

是ハ当辰卯迄拾ヶ年ニ付当年中ニ相納候様

外

永程三百八程ヶ

此銭四程ヶ程五百文程ヶ

内　銭程五百八程ヶ

銭程五百文程ヶ

右之代官所

奥州石城郡上神白村

山年貢割付写

年季中相定申候

天保十三年
御請証文相納候

右之通上納仕候

従石城郡年納候

請取上納候

右ハ上神白村百姓持山年貢門方百年余前ゟ相
出来候通山永上納致候得共同村之儀ハ古来ゟ畑高少
之由余程困窮仕候間畑田ニ唱候場所ハ田方ニ振替荒地
ニ而困窮之者共江戸持越候者有之左山役小物成
相願候者ハ右山年貢上納方之儀ハ
無之由天明三卯年御檢見之節出来候人別之者困窮
ニ付御吟味之上ニ而請地年々金納も被仰付候処
無御座候上ハ天保度之御檢見之節も御

今般御見分山年貢永納方七ヶ年之通被成下候村方
以前ゟ出来候通ニ而今般被仰付候地門方
其儀ニ付御伺山年貢之内今般御差出候
中立会候処元申年差出候書付ニ而書上候間上年季
門方之儀同六丑年ゟ天明三卯年迄出来候場所
以之節方ニ而年門方新田之儀ハ余程入用
其外御手当之上ニ而永上納ニ仕度奉願候
無之地所ニ而苗木植付年季も有之候

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

新儀御林ニ取立申段、右植立置候年貢相成り候ニ付、実生植
付申候所、御林取立候年々右植候苗木植付申候
而右之上納方ニ仕候処、文化元年右之反別ニ付、右何程ニ而
右此度御見分之上、御年貢ニ被仰付年々御年貢上納仕
山方之儀者段々年々御年貢ニ付、右之通り五反歩程ニ而
右御精々之中、当年々御年貢ニ付、右反別之儀（追而別紙ニ書上申候）
南原野ニ而右陥ニ付、右山根通り笹刈払候得者、当時
家数僅ニ相成、人数老若男女共ニ人余ニ相成候

無之、今般右植付候得者、年々相成候得者、右植付置候
山澤之所右植場所江入植付候得者、雲余も隔ニ而相成候
御代官方江相願候処、苗木植付相成、多人数仕候
年々精々根付候ニ付、是迄苗木植付候
難儀之者共ニ而、右田畑耕作之中ニ当村新田
相成候ニ付、右之上納仕、場所之儀何卒当
年々相成候年も御年貢ニ付、右年々
相当之植付年々御年貢上納仕度奉願上候

此間手代其外村役人共仰付候上雑木植方苗木
植付方并苗一同ニ而も存寄之廉利害申出候様申渡候
雑木植付之儀者不残当年ゟ実生苗植付ニ而致
此場所者苗木生立候村中ゟ人足差出年々玉松
杉苗等植付植付外ニ廻り中ニ而場所ニ通り紫出来刈払
雑物出来候ニ付秋中迄ニ者右様之刈払仕苗木
植付場所ニ而刈払雑木又年々苗木植付同様
手入仕候ニ付雑木植方之儀苗木植付候様手入

明ニ而知実相植付場所之儀遠ニ而代官所江又候地ニ苗木
植付ニ付年来御用ニ而後往之為ニ而御通し相成候ニ付
上納仕候ニ付今一度村方之儀申上候間何卒年
之作付致候間御嘆申上候ニ付江御村方山之儀ニ付
之者一同奉存候当得と勘弁仕候処一体極
山中ニ而一部ニ而農業第一之余業ニ無之
村ニ而山林稼ニ而相暮し候ニ付
之存寄之由申立候ニ付実意ニ

植林之儀ハ去ル卯年より伊豆国御林場所植付被仰付候場広之場所
之義ニ付年々苗木植足仕候得共未夕成木不致候ニ付
此度苗木植付方之儀野中幸右衛門殿格別之御精勤を以
御手当之儀被仰付候而植付御見分被成候処
其後追々手入方之儀仕付候ニ付場所柄ニ寄未夕
年々手入等仕候得共植付候ニ付年々苗木植付
寛政植付候処成木ニ相成候場所ニ而苗木植付
年々同様ニ植付候得共両場所ニ而年貢上納

之候処其節之村々一同ニ相成候ニ付難儀仕
御座候付苗木植付候ニ付場所柄ニ而生立兼
度々村方之儀ニも不及候ニ付村役人共立会不致候間
御林之儀御詮議被成下候ニ付村々取計方左之通
永代之名目ニ而去ル卯年迄諸年間々作付候ニ付御座候
其外之儀も御座候以上

朱書

安政五午年五月

羽田十左衛門 下

御勘定所

長井 豊前 石見 出雲 淡路 肥後 遠江 大和 八郎右衛門 図書頭 七左衛門

表書之通奥州石川郡小山田村山年貢永七貫四百七拾三文本高山年貢之外相納来候処先年当午より寛政年中之通

山年貢伐木之内石木数本木村松三本之分年季中免除之儀相願出候ニ付願之通年季中者免除之

一 奥州小山田村山年貢免除伐年季願書

同村名主口出之何様

不申午年迄拾ヶ年季之内
当未より辰迄拾ヶ年季之内
永元米五貫五百四拾文 不足 ニ付

一 永四貫五百九拾弐文 ニ付
 此関銭拾八貫八百七拾九文

外 永五百四拾八文
 此関銭弐貫五百七拾五文

右松平小平次御代官所奥州石川郡小山田村山年貢免除
当未年より拾ヶ年季之内御免除仕候処石村名主百姓惣代

松平大和守
奥州石川郡小山田村
山年貢
但拾ヶ年季之内
高木平兵衛

是迄之通上納仕候

文化〇度迄ハ家数拾七軒人数六拾人余有之農業ニ而
炭焼又ハ薪伐出渡世致来候処 文政
八酉年以来追々退転ニ付而百姓出来候ニ付御年貢諸役無御座
年〇時疫流行死失退転ニ而家数弐軒人数
七人ニ相成右之内老弱を除農業出来候もの四人有之候へハ
訳も之村同村ニ有之戌年中

支配野村長谷島方ニ而取調申上候処
以之外之儀ニ付人数ニ而越度返納物納方ニ而取計候
壱両ニ而山稼渡世致候ニ付山年貢永納
難渋之趣年来之義ニ付村高持人之世話
百姓ニ相成候家数弐軒人数拾人ニ而
以之外年来困窮之義ニ付野州之場所
枝村迄ニ而七難渋ニ付又山年貢
右之趣ニ付相成候ニ付村方山稼之場所細

朱書

文化○度迄之家数拾七軒人数六拾八人余有之農業之外
炭焼又ハ薪伐出渡世いたし候処村々文政
八酉年以来違作続ニ而追々百姓相続難相成
年々困窮ニ陥り上天保七申年飢饉ニ付困窮ニ及
当時小前十八軒
年々時疫流行死失退転ニ而当時家数弐軒人数
七人ニ相成右之内老弱ニ付農業出来兼候もの四人有之
候ニ付村同村ニ而戌年中…

支配野村彦右衛門方ニ而御検見之上御年貢引方之儀相願
候得共八数之人数ニ而荒地起返御物成方之儀難相成
悉皆荒地ニ相成山稼ニ而御年貢相納
稼方以難渋年々御免除相願年限中入百姓…
前々極難渋ニ付其後遠化…
更ニ人別減少いたし右之内…
当郡之家数弐軒人数拾八人ニ相成…
以後当高…年々…

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

見取ニ而当作ニ而申立之通御極免村ゝ并ニ持山之分ゟ

代之儀ハ以後苗木植付未成木無御座候ニ付追而御定之上

此段ハ新規之御運上相成四ヶ所四両九拾九文ニ而上納仕

一 反追而年季中郷蔵壱ヶ所仕立来候間御赦免被下

年季中 山稼弐ヶ所桂村年季明キ之上

朱書

残年季之御年貢ハ左ツ了右篠之外両姓ニ立苗木植付ケ
原井谷右源山迄も入込薪茂茅迄切出し作年貢上納
致し候ニ付返て刀銀ニ不及年季中も元来上納いの仕合
中立ニ而年々代々右村惣山稼之場所ニ而御座候故仕候処
中立之通り右村人ゟ右持山立木ニ而伐出し候作苗木
植置之分ニ而右家山稼ニ而相成候ニ付取扱遠慮仕候ニ付九年季
免除之御年貢ニ上山稼ハ勝手次第ニ而村元江迄返し

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

元禄□□迄上納之積候得共□□□之□□之年季□以上
宝永六未年四月　森□之助
御勘定所

□□□下□式部
□□
□□
□□
表書之奥州□□□□郎□山田村山年貢之永五貫百
□□文□□□□□□□□□
辰迄□年□□□中□年□□中□□□□入□□
□之□為□□年季□中□元禄迄□之□□
□□□□□□□□□□
判
□□□□　未六月

□□□□

奥州上郡白村山年貢引方証文年季間書

年々□□□年季□
山年貢永□□□□□□□文
此□残□□□□□□□文之内
一　永七貫□□七□□□文□下
此□□□□□□□□文
□□□□□□□年引方□御□□□□元禄上納□□
外
永□□□□□□文□下
□□□□□□□文
四□□□□□□□文
□□□□□□□文

□□代官所
奥州□□上郡白村
山年貢引方□
年季□□□
但　□□□□□□□□
右□□上納仕□□
□□□□□□□
□□□□上納□□

[illegible]

本郷上郷白村百姓持山年貢引方両度年季明ケ有之趣

山永上納之儀ハ従前代々新田村々入当高ニ不応分米ニ而宝暦年中

新田ニ被召上候ニ付当百姓持分余米花代高ニ有之度出願ニ付其村

願之通ニ而右山林之儀ハ永々不相成候事 [illegible] 難渋ニ付 [illegible]

山年貢上納方之儀文化元子年三ケ年 [illegible] 以来 [illegible] 人

御ニ成候困窮之趣御聞済以後ニ而 [illegible] 地主入方不行 [illegible]

御定免納ニ付 [illegible] 文化 [illegible] 不 [illegible]

[illegible] 山年貢之儀 [illegible] 当村 [illegible]

是迄之 [illegible] 田畑 [illegible] 地引 [illegible] 山手入方 [illegible] 納

之御 [illegible] 元申年 [illegible]

[illegible]

年季引方被仰付候 [illegible] 年季引方 [illegible]

寛政 [illegible] 年 [illegible] 田 [illegible] 引方 [illegible] 年季引方 [illegible]

原 [illegible] 上納 [illegible]

[illegible] 地 [illegible] 苗木年々 [illegible] 植付 [illegible]

[illegible] 苗木 [illegible] 年 [illegible]

御 [illegible] 苗木植付 [illegible] 永久上納方 [illegible]

[illegible] 年季引方被仰付 [illegible]

[illegible] 山方手入 [illegible] 年季 [illegible] 知 [illegible]

手入中 [illegible] 山 [illegible] 秋

[illegible] 山根 [illegible] 刈 [illegible] 村 [illegible]

[illegible] 上人 [illegible]

然ル処右場合ニ付相成候處、猶又蒸篭手當ニ相成候様御座候ニ付
請之者共ゟ山續キ之儀ハ右場所ニ付左様不行届之儀ニ付相成
此ゟ御取計ニ付、苗木植育之儀仕付入会之儀ニ付差出し
相成候ニ付候而ハ是迄苗木植育之儀、其外甲斐
中之御用村々御取計候、右ニ付ゟ上納仕候場合不少何年
尚又右村々年々右仕付方ニ付其年ニ限り苗木
植付年々之儀申上候上納仕候ニ付候書付差上
右仕付方ニ付苗木植付方小家百姓共ゟ申上
村々御取計之儀ニ付火防御場所ニ而年々相渡候様
兼而苗木之儀、村中ニ而金子之年々相成候植付

外ニ山中之道筋有之候村々刈払場所ニ而右之仕法を以
無滞刈払以来苗木植育之場所ニ而下草刈払方之儀
苗木植付之儀年々入用之儀ニ付火防方取計候得共
年季限之御定植育仕候ニ付見廻り御取締り之苗木
植育之年季明ケ候後之儀ハ直ニ上納仕候ニ付
一躰村々續キ之儀ニ付右方之年々作付候一同差出
場所之儀仕付一体植山中迄御取締ニ付余業之儀
前々村々山林之儀ニ付御見分之上右之通り
皆済之上年々定納之儀場所ニ而相成候代金
右御取計之場所之儀山之年々ニ付百姓共
此節右之通り之儀ニ付是迄苗木植育之儀野火入之儀

一
猶其以後者村々ニおゐて開発之儀[illegible]候処
候者無之旨申立候ニ付[illegible]場所ニ而文久二戌年迄
苗木植付仕置候分当亥年[illegible]苗木
御取調ニ相成苗木植付年々[illegible]
去戌年貢上納之儀[illegible]村方一同ニ而
難渋仕候ニ付苗木植付候ニ付手入仕候
村役人共立会ニ而[illegible]
御取扱被下候様奉願上候
引方之儀御聞済被成下置候様奉願上候以上

文久三亥年　月

森孫三郎 印

御勘定所

[illegible]

右者当亥別段苗木植付村山年貢永上納
置候七ヶ年季ニ而[illegible]年季引方
中間苗木仕立方稽古手入可致旨年季中
之去戌年迄之分を[illegible]文

朱書

寄之作之

卯印
中ノ丁

秀 □月

奥州下並岩村山年貢入米来書切替伺書

[illegible]

一 永四百文
此銅銭八百文

但三ヶ年分

寛政□□日

松前奉行所
箱館在下並岩村

山年貢

但當寅年より
銅銭□貫文宛

右山年貢之儀寅巳年中二ヶ年 永四百文宛 上納之儀
仕候所一統右村之儀海岸附諸地高年々無之ニ付
境寛右様之儀ニ付反別高掛反之取下之積相成ニ付反別廉
仕候ニ付延米引續ニ而作方之儀御渡被下候様人別之儀被成候ニ付 左様之候年来

何年ニ而茂右之通 極窮役[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]文年季中

[illegible]

[illegible]以上

慶応三卯年十二月

森孫三郎　下

御勘定所

慶応[illegible]　十五歳　二年二　[illegible]年[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以上

卯三月

[illegible]　三年二

奥州上郡[illegible]村山年貢引高継年季願書

去ル卯迄五ヶ年季ニ而
山年貢永拾七貫[illegible]八百文
此銭七拾[illegible]貫八百[illegible]拾文
三口

一 永七貫八百文 七拾三文
此銭弐拾九貫八百文

当辰より来ル申迄五ヶ年引高之分 但村方困窮ニ付元永上納之様

外

永拾貫三百文
此銭四拾三貫八百六拾文
内 銭拾五貫八百文
銭弐拾五貫[illegible]七拾文

私共[illegible]
奥州[illegible]上郡[illegible]村
山年貢引高継年季[illegible]
但[illegible]

右通り上納仕候ニ付
[illegible]
[illegible]

朱書

此落書一頁切取ベシ

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

右之外新田村居屋敷共当年定引ニ而当辰年季明ニ付先規通
山形之絹之儀縁付候而同村之儀者土地之高ニ余石余之内家大沢
新田之儀山端ニ而高之内七拾石余第一悪地ニ而困窮同様ニ付居村
続之地之右山除出来ニ付荒地新田之稼ニ而
紀米出年貢上納方之儀者当ニ而天保三卯年以後
出来退転人少ニ相成困窮ニ付追々未第一以退ニ而御取計
一
多分有之候ニ付見分之上無納御座候得共当
天保度之別段ニ候得共ニ而人数相減当年貢未納
出来之七ケ通之荒地無株村々入納以第一未ニ付退ニ
人少之耕作田畑手余ニ而取引方相成候程之事

六四之
[内家長年季荒地年季]
山之多分御無納之儀難渋ニ付当辰年
石高之内ヘ又作ニ付引上年季引方之 依之
荒地之分相当年季引方相成文久三亥年季明ニ付
相成年季引方 難渋ニ付田地ニ而年季明ニ付
相成候儀追々之差支ニ而荒地上納之儀ニ付目論見
之場所相当木年々荒地付候ケ年も相当ニ
新規地ニ相成候ニ付荒地ケ年目之事作付
以来右耕作ニ当年之荒地上当木出来以来永久上納方
荒地之も当ニ而追々出来御候得共当卯迄
当ケ年季引方之 作付年季年 稼之山之多分
年季明之荒地之当地ニ付出来ニ付稼之事年

右之外神田村名主并当年貢引方当辰年季明ニ付右願通
山永上納之儀被仰付候処同村之儀ハ高弐百石余之内高五拾石余大沢
新田之儀ニ付場所ニ高弐拾石余ニ而近年用水差支候ニ付相
減候ニ付之右外往古ゟ之村高ニ而之作之新切之候ニ付
畑永山年貢上納之儀ニ御座候処天保三卯年ゟ御
御用遠村之当村田畑之遠く候間近年ニ相成候
右之通難渋ニ付実ニ上納方出来兼候ニ付右之
天保度之内御願之儀奉願候之人数相知候山年貢永納
以前之七ヶ年之通御赦免之村々納候処右ヶ年ニ而
人少之当村田畑之引方相成候ニ付

西之
（端裏書）

山之御領分御用之永納之儀難渋之為年々永不足年
右手当之分右之通又難渋之上年季引方ニ付
右永又難渋之続年季引方相成又久之年季明ニ付
永引之続年季引方相成候ニ付相続之年季ニ付
相成候右近年之右永上納之儀ニ付目当も
之之新相続之当ホ年之右村方ヶ年も相成候
新田之右手当之新規之年々当年目之分
以前之右年之右之当ホ之村方人上納方
右之も右之之右之相続右年卯年迄
右ヶ年季引方分 年季年 村之山方之右
年季明之右永之之相続 当年分之年季之年

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

朱書

丁

当辰年中御林成以来右山近来引候野火入野焼
書状ニ而野火防之ニて山根芝草刈払候処当村
家数拾七軒人数百人余ニ付て八拾人之以来之者共も
右之上人数多野火防も御座候処当村之場所
御林村境以為段御山芝草取払候年限之儀之
書上候ニ付御請書差上候所御見分之処当村より上申之者も相見
御林之も野火防候不行届仕候角苗木植付方御仕立
等ニ以為辰年之儀天而植付以前之儀ニ付追而苗木
植付候儀難儀も多く候処甲斐中之以当村新
御林之儀之左様之儀ニ御座候不仕場之無之候ニ付年

当辰ゟ植之儀者年々引受可仕候年季年
植苗木植付年季中ニ於候者年限以
右御場所之場所上野火防之苗木植付ゟ十年
一同ゟ辰ゟ段御引請中ゟ以来御林野火防仕候場
右之当年之実苗木御慶之御林成以為御苗木植付
村中ニ而其之年季御林野火苗木植付之儀当
通り宗来刈払場所年々仕年辰之者御場刈払
出来一苗木植付場所ニも下草刈払植之者年々之苗木
植付候御林之以来一切野火防之御見植者
年季之儀之初植付以後之段植え候以上
苗木植付仕年季後仕之儀右御通無之候

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

一

右者荒地之内今般当村御請負ニ付 引方継年季相願
候付、最寄一同示談之上加勤其外仕法書御伺
相済、年来之荒地并荒所之内米穀村高之分
当所持之分相渡、右之外隠地開発等不残相届
且持主之年来実無納之場所不取立候分も申合
荒地之分先規之通ニ取計、以年季之上出来ニ相成
之外新田之分並相成可申ニ付、苗木植付之儀
入相成候ニ付、続而相願ニ付、年季中苗木植付
元候苗木之儀、猶又差障之儀無之様相続之儀
場所之分年季中苗木植付継年季引方

年季中之内苗木植付成木ニ相成候ハヽ右場所植付
苗木植付年季之間相休、年々之往還其外無納相続年貢
上納之儀ハ村高相応ニ相納、年々ニ而差引
無難ニ苗木植付相成候様、以前之通成木
村役人ニも相守候様、村役人共一同相心得、猶又
御林ニ付御取締之儀堅相守、追々仕法之通
差上置候、年季引方之儀御伺之上、依之請書差上
以上

慶応四辰年　月

森林孫三郎

御勘定所

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070

東京大学経済学図書館所蔵 旧文書室所蔵古文書 5507685070